

ORD6次産業化セミナー

日時：2014(平成26)年4月14日(月)

会場：奥野製薬工業(株)本社 大会議室



本年度第1回セミナーを、平成26年4月14日奥野製薬工業(株)本社大会議室におきまして、「近畿における6次産業化の取組について」のセミナーを3部構成にて開催いたしました。

第一部は、行政の立場から、近畿農政局の井上様より、平成23年3月に施行された「六次産業化・地産地消法」の活用に対する説明。近畿農政局を事務局とする「近畿農業・農村6次産業倶楽部」による、農村漁業者・企業・行政・消費者団体・大学等の加入者間の連携や取組事項の説明及び6次産業化の取組に関する、国(農林水産省)の補助金についての説明。

第二部は、大阪府6次産業化事務局の、JTB大山氏より6次産業化のネットワークについての活動・PR、時限立法による「(株)農林漁業成長産業化支援機構法」に基づくファンドの利用方法についての概要説明。

最後に、6次産業化プランナーの下田氏(弁理

士・中小企業診断士)より、6次産業化支援者としての位置づけ・関わり、農林漁業者の自立支援を主眼とした農商工連携スキームの構築、6次産業化支援に対する課題等、具体例を交えてご講演を頂きました。

セミナー後の懇親会には、大阪府事務局の大山様、6次産業化プランナーの下田様にもご参加頂き、6次産業化に対する知識を深めました。講師の先生方には、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

松浦勲(記) /
ラミネートインターナショナル(有)

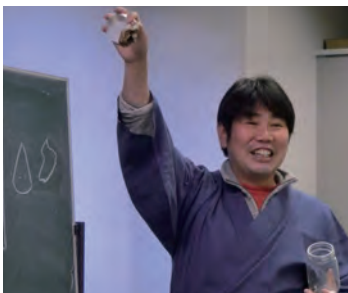


技術促進委員会「見学会」レポート

日時：2013年12月10日(火) 場所：堺伝統産業会館、忘年会



冬晴れの中、総勢13名にて堺伝統産業会館に行きまわりました。当会館はインターネットにより「平成23年10月オープン」の堺の伝統産業を一堂に集めた施設」となっております。今回はORD顧問の大阪府立大学経済学部経済学で特命副学長の山本浩二先生にご紹介により、当会館を見学後、奥野晴明堂、奥野浩史様に線香についてご講演していただき、線香の制作実習を行いました。



線香の制作実習を行いました。

堺はあまりにも近くなので普段あまり気にされていない方も少ないと思いますが、多くの古墳、神社仏閣を

有し、古くから栄えている日本有数の都市であります。当然、そこには伝統工芸品やそれに伴い匠の技が伝承されております。会館では、堺の伝統、匠の技ということで、刃物、線香、緞通、昆布、自転車、和菓子などの体験・学習・展示コーナー、堺の逸品、名産品を販売するショップがありました。特に刃物については大変多く展示されており、当日も説明員の方が詳しく歴史や製造方法について教えてくださいました。

さて、線香ですが、なぜ線香というかといえば、その文字のとおり「線の形をしたお香」だからで、お香というのは元々伽羅を小さく切断したものを指すそうです。お香は飛鳥時代に伝えられ、平安時代には調合が始まっていたそうです。一方、お香は大変高価なため、お香と楠(タブ)の樹皮を粉末にしたものを練り合わせ、線形にしたものを線香と呼び、約400年前に小西行長が堺に伝えたといわれています。それが各家庭への仏壇の広がりに伴い線香の需要も伸び、今では300億円市場とのことです。そのほとんど

は仏事向けで、流行のアロマ向けは18億円市場にし過ぎないとのこと。比較的ニッチな市場の割に大手が新規に参入するためには非常に多くのラインアップを展開する必要があるため(香りの好みは千差万別のため)、大手の参入は今のところないそうです。



そのようなお話を聞いた後、いよいよ制作実習へと移りました。用意してある2種の粉末を練り合わせ、型で抜いただけなのですが、いつものごとく賑やかな楽しい時間を過ごしました。今年は「匠の技」をキーワードとし、伝統品の制作実習を例会に取り入れ、4月の金箔押し、6月の手延べそうめん、10月の水引、と続いたのですが、実際のところ、こんなに色々な体験実習がリーズナブルなお値段(1,000~2,000円)であるとは始めるまで知りませんでした。製造過程のほんの一端をほんの少し体験したに過ぎませんが、実習することにより伝統工芸品や匠の技をより深く知ることができたように思います。

そのあと恒例の忘年会に向かったのですが、年の締めくくりに日本の伝統芸を堪能しようということで、少し贅沢をして京都から舞妓さんと芸妓さんに来ていただき、楽しいひと時を過ごし、一年の疲れをいやしました。

末筆ながら、お世話になった堺伝統産業会館のスタッフの方々をはじめ、奥野晴明堂、奥野浩史様に紙面をお借りしてお礼申し上げます。

伊場田晶(記)/旭テック株式会社



事務局よりお知らせ

【第1期】「平成26年度産技研報告会」
 平成26年度産技研プロジェクト研究報告会 海洋からひもとく地球の未来
 JAMSTEC2014の成功
 産技研プロジェクト研究報告会
 U.A.4445600(世界一高航向 QUELLERO13)
 東北地方太平洋沖地震調査隊による巨大地震・津波発生メカニズムの解明
 ガン半ばとなったカーボン捕集と貯蔵の現状と今後の取り組み
【第2期】産技研フォーラム「JAMSTECの未来」
 パネルディスカッション
 平成26年度 海洋研究開発機構 研究報告会
JAMSTEC2014
 海洋からひもとく地球の未来
 日時：平成26年3月5日(水) 13:00～17:30
 場所：東京国際フォーラム ホールB7 (JAMSTECの未来より後11時)
 参加費 無料
 申込不要

平成26年度 海洋研究開発機構 研究報告会 JAMSTEC2014
 海洋からひもとく地球の未来

プログラム

13:00～13:30 開会挨拶
 13:30～13:45 平成26年度産技研報告会
 13:45～13:55 ●平成26年度産技研プロジェクト研究報告会 地球の未来を海洋からひもとく
 -JAMSTEC2014の成功-
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 13:55～14:00 ●産技研プロジェクト研究報告会 産技研プロジェクト研究報告会
 14:00～14:05 ●U.A.4445600(世界一高航向 QUELLERO13)
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 14:05～14:10 ●東北地方太平洋沖地震調査隊による巨大地震・津波発生メカニズムの解明
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 14:10～14:15 ●ガン半ばとなったカーボン捕集と貯蔵の現状と今後の取り組みについて
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)

14:15～14:30 質疑応答
 14:30～15:30 昼食・ポスターセッション

【第2期】産技研フォーラム「JAMSTECの未来」
 15:30～17:30 ●JAMSTECの未来
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 15:30～15:45 ●産技研プロジェクト研究報告会
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 15:45～16:00 ●産技研プロジェクト研究報告会
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 16:00～16:15 ●産技研プロジェクト研究報告会
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 16:15～16:30 ●産技研プロジェクト研究報告会
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 16:30～16:45 ●産技研プロジェクト研究報告会
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 16:45～17:00 ●産技研プロジェクト研究報告会
 司会 長 尾 隆 (JAMSTEC)
 17:00～17:30 閉会挨拶

会場情報
 東京国際フォーラム ホールB7
 東京都千代田区丸の内3丁目2番1号
 TEL 03-6562-1000

お問い合わせ
 事務局 産技研事務局 産技研事務局
 TEL 046-867-8282 http://www.jamstec.go.jp
 ホームページ http://www.jamstec.go.jp

JAMSTEC2014

平成26年3月5日東京国際フォーラムで(独)海洋研究開発機構の研究報告会JAMSTEC2014に招待され参加してきました。300人以上は聴講されていて盛況でした。

5件の発表とパネルディスカッションがあり世界最高水準の海洋探査技術に感動しました。

今年7月に予定している海洋工学センターの見学が楽しみです。

第1回産技研プロジェクト研究報告会

平成26年3月11日第1回産技研プロジェクト研究報告会が大阪府立産業技術総合研究所で開催され、「革新型電池プロジェクト」「最先端粉体設計プロジェクト」「薄膜・電子デバイス開発プロジェクト」の各プロジェクト研究の発表がありました。



第1回 産技研プロジェクト研究報告会
 平成26年3月11日(火) 13:00～17:20(受付開始 11:00～)
 大阪府立産業技術総合研究所
 大阪府和歌山県和歌山市1-1
 地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所
 大阪府和歌山県和歌山市
特別講演
 (13:20～14:10)
 「全固体電池の最前線 -いま世界でどこまで進展しているか?-」
 大阪府立産業技術総合研究所 長尾 隆 氏
プロジェクト研究テーマ
 ●革新型電池開発プロジェクト
 ●最先端粉体設計プロジェクト
 ●薄膜・電子デバイス開発プロジェクト
最新機器実演会
 研究結果ポスター発表会
 お申し込みはWebサイトから <http://tri-osaka.jp/>

MOOV,press 4月号

2014年4月大阪府商工部ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)の広報誌MOOV,pressの4月号にORDが取上げられました。

大阪府産技研型企業研究会(ORD)
 大阪府立産業技術総合研究所
 産技研事務局 産技研事務局
 TEL 046-867-8282
 http://www.ord.or.jp/

出会って、見て、聞いて、触れて！
 事業のヒントが見つかる異業種＆異世代交流ネットワーク。

産中産連携の発展、医療における光技術など、コアテーマの講演会やセミナー、東大工学部研究員のスーパーカミカンチ、日本産大の独立系封筒事業など多様な発表ができる研究会。これらの斬新な取り組みが期待されている大阪府立産業技術総合研究所(ORD)は、産技研型企業研究会を主催する。これらには、産中産連携の発展を促進する産中産連携センターや異業種交流協会、北学、産研、産研、産研などの製造業を中心に、異業種・ビジネス、金融、教育などの分野が加入し、社員、経営者などの参加が期待される。産中産連携の発展を促進する産中産連携センターや異業種交流協会、北学、産研、産研、産研などの製造業を中心に、異業種・ビジネス、金融、教育などの分野が加入し、社員、経営者などの参加が期待される。産中産連携の発展を促進する産中産連携センターや異業種交流協会、北学、産研、産研、産研などの製造業を中心に、異業種・ビジネス、金融、教育などの分野が加入し、社員、経営者などの参加が期待される。

大阪府立産業技術総合研究所 産技研事務局
MOOV,press 09
 新らずにチャレンジする、NOと言わない企業。
 中小企業の成長のキーは、あきらめない「対応力」にあり！
 産中産連携の発展を促進する産中産連携センターや異業種交流協会、北学、産研、産研、産研などの製造業を中心に、異業種・ビジネス、金融、教育などの分野が加入し、社員、経営者などの参加が期待される。